

別紙2 参考様式

現在の人・農地プランの区域の全部又は一部の区域であって既に実質化していると判断する地区

対象地区名	範囲	区域内農地面積(ha)	近い将来の農地の受け手①		近い将来の農地の出し手②		①及び②の面積合計(ha)	備考
			中心経営体数	現状の経営面積合計(ha)	農業者数	貸付等予定面積合計(ha)		
松原地区	松原集落	31.7	1	29.8			29.8	
久々子地区	久々子集落	59.9	1	45.6			45.6	
和田地区	和田集落	11.0	1	8.7			8.7	
木野地区	木野集落	10.1	1	5.2			5.2	
佐柿地区	佐柿集落	29.3	1	18.2			18.2	
中寺・宮代・麻生地区	宮代集落	15.6	1	7.9			7.9	
	麻生集落	40.6	3	29.1			29.1	
野口・佐野・上野・小三ヶ地区	野口集落 佐野集落 上野集落	57.1	5	29.7			29.7	
	小三ヶ集落	18.1	5	10.4			10.4	
興道寺地区	興道寺集落	79.3	13	66.7			66.7	
坂尻地区	坂尻集落	21.6	2	20.2			20.2	
太田地区	太田集落	32.0	2	16.5			16.5	
北田地区	北田集落	29.8	3	15.4			15.4	

注1:1集落1農場を実現しているような区域においては、区域の受け手の事業が将来にわたって安定的に継続される見込みを後継者の確保状況等により確認し、確認した旨を「備考」欄に記載します。

注2:「範囲」を集落名等により特定できない場合には、地図等を用いて特定することができます。

注3:「近い将来の農地の受け手」の「現状の経営面積合計(ha)」には、対象地区内における中心経営体の現状の経営面積の合計を記載してください。